



はれるんマガジン

～気象・地震に関わる素朴な疑問に答えます～ 発行：福岡管区气象台

今月の素朴な疑問

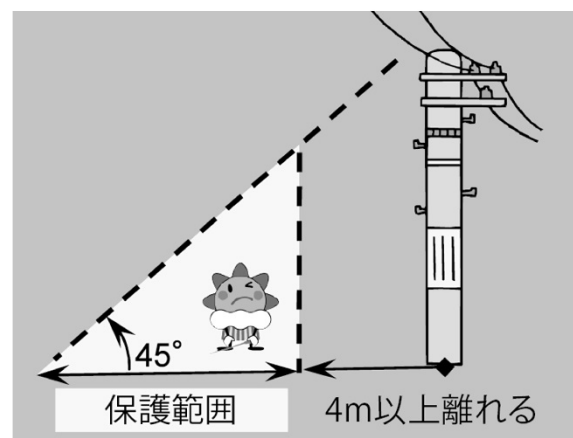
雷が怖いのですが、身を守るにはどうすればよいのでしょうか

姿勢を低くする、身体より高く物を突き出さないことをまず実行し、落雷の合間をみて安全な場所に移ることで。落雷と落雷の間には1分以上の間隔があります。

天から地を貫くように眩しい光が走り、数秒後にバリバリバリ！と大音響。落雷は見た目もおそろしく、その下では命に関わるような災害も起きています。これからの時期は、外出中に雷に出会うことも多くなりますが、そもそも、落雷とは何なのでしょう。簡単に言えば、発達した積乱雲（雷雲）の中で発生した電気が地上に向かって流れる現象です。ただし電気の量がすさまじく、一瞬の間に普通の家庭で1か月かけて使用するくらいの電気が流れますので、命に関わる強烈な電撃が発生します。この電気が体内（脳、心臓）を流れると呼吸停止、心拍停止がおこり、5分以内に回復しないと死亡事故となります。雷直撃の死亡率は約80パーセントといわれています。

落雷では、電気を流そうとする力（電圧）が1億ボルトともいわれ、普段は非常に電気を通しにくい空気も電気を通すようになります（絶縁破壊）。この絶縁破壊は、とても短い時間をかけて数十メートルのステップを繰り返しながら起こり、電気の通り道を探すように進んでいきます。このため雷（稲妻）はジグザグに見えるのです。そして最後のひと飛びが地面に達した瞬間、電気の通り道がつながり落雷が発生します。樹木や人体などは空気よりはるかに電気を通しやすいため、それらが地面より高い位置にあるとこの最後のひと飛びを呼び寄せることとなります。

金属製の棒を高い位置に置くことで最後のひと飛びを呼び寄せ、電流を速やかに地中に流し込むことで周囲を雷から守るのが避雷針ですが、仕組みからいえば「誘雷針」というべきものです。雷雲が近づいているときに、この「誘雷針」となるような行動をとると落雷の被害を受けることとなります。雷が鳴っている状況で、波止場で釣り竿を立てる、ゴルフのクラブを振り上げる、堤防の上など周囲が開けた場所を自転車で



比較的危険は小さい

走る、ウィンドサーフィンをするといった行動です。

また、雷雨の際に気をつけたいのが、樹木の下や壁の無い四阿(あずまや)で雨宿りをしないことです。背の高い樹木は地面から突き出ているため落雷しやすいのですが、落雷するとその下で雨宿りしている人に向かって樹木から放電が発生します。これを「側撃」といいますが、木の幹や枝から2m程度までは側撃が届くと言われていいます。四阿(あずまや)の場合も柱から側撃が発生しますので危険です。雨宿りするならしっかりした造りの建物の中に入ることが大切です。

電車や自動車など表面が金属で囲まれた乗り物は、落雷を受けても電流が瞬間的に表面を流れますし、内部に向かっての側撃は発生しませんので、中にいると安全です。ただ、強烈な光で目が眩むおそれがありますので、運転は控えるべきでしょう。

雷雲が近づいているかどうかは、雷光(稲光)が見えてから雷鳴が聞こえるまでの時間差を測ることでわかります。時間差が小さくなるほど雷雲が近づいていることになります。ただし、雷鳴が聞こえるということは、すでに危険な状況ですので、時間差を測るより安全な場所へ避難することが大切です。

落雷の危険性が高まってくると、気象台は「雷注意報」を発表します。お住まいの地域に雷注意報が発表されましたら、なるべく外出を避けることが大切です。それでも外出する必要がある場合は、空の様子に気を付けましょう。入道雲がモクモクと湧き上がっていけばやがて雷雲に変わりますし、急に空が暗くなったり冷たい風が吹いてきたりしたら雷雲が近づいている兆しです。それから、どこで雷が発生しているかは、気象庁のホームページの「雷ナウキャスト」で確認できます。これはスマホからも見ることができます。

いろいろな情報を活用して、危険なときには外に出ないこと、外にいたら早めに安全な場所に移動することで、怖い雷から身を守ることができます。

問合せ先

〒810-0052 福岡市中央区大濠 1-2-36

福岡管区気象台防災調査課はれるんマガジン編集部

電話：092-725-3614

Fax：092-725-3163

e-mail：fukuoka_bousaichousa●met.kishou.go.jp

●マークは半角@に置き換えてください

次回の発行は9月中旬頃の予定です。

(お知らせ)

『防災・お天気フェア2019』を開催します(施設見学、気象や火山の実験など)

日時：令和元年8月4日(日) 09:30~16:00(入場無料)(最終受付:15時30分)

場所：福岡管区気象台(福岡市中央区大濠1-2-36)